



本社工場

○本社所在地：兵庫県三田市
 ○事業概要：フリーズドライ食品(自社商品及び大手メーカーのOEM商品)の製造販売
 ○常時使用する従業員：152名(2025年3月期)
 ○現在の売上高：47億円(2025年3月期)
 ○法人番号：8140001077586
 ○Web：https://www.cosmosfoods.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
圓井 康輔

宇宙・自然の恵みを、宇宙・自然の力で活かし
 自然のあるがままのおいしさを食卓まで届けたい。

- ・食品に携わる事業者の責任として、日本の食文化を醗酵技術/フリーズドライ技術を駆使して、簡単で、素材の良さを生かした商品を提供することで、社会、くらしにおいて、なくてはならないスパイスのような存在になり、結果として新たな投資と社会への貢献を実現することを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2035年の売上高100億円達成に向け、OEM販売額を維持しながら、自社商品販売を海外販路の拡大も含め、年率8%程度の成長を目指す。
- ・フリーズドライの技術を駆使し、日本の食文化を世界に、地方の食文化を日本全体に提供する。

課題

- ・製造キャパ限界に伴う、設備投資実施が急務。
- ・少子高齢化が招く深刻な人材不足への対応。
- ・DX化(AI,IOTへの対応)への対応。
- ・原材料の安定確保(気候変動での農作物の収量減少等)。
- ・海外市場、本格参入に向けて、現地物流拠点が必要。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

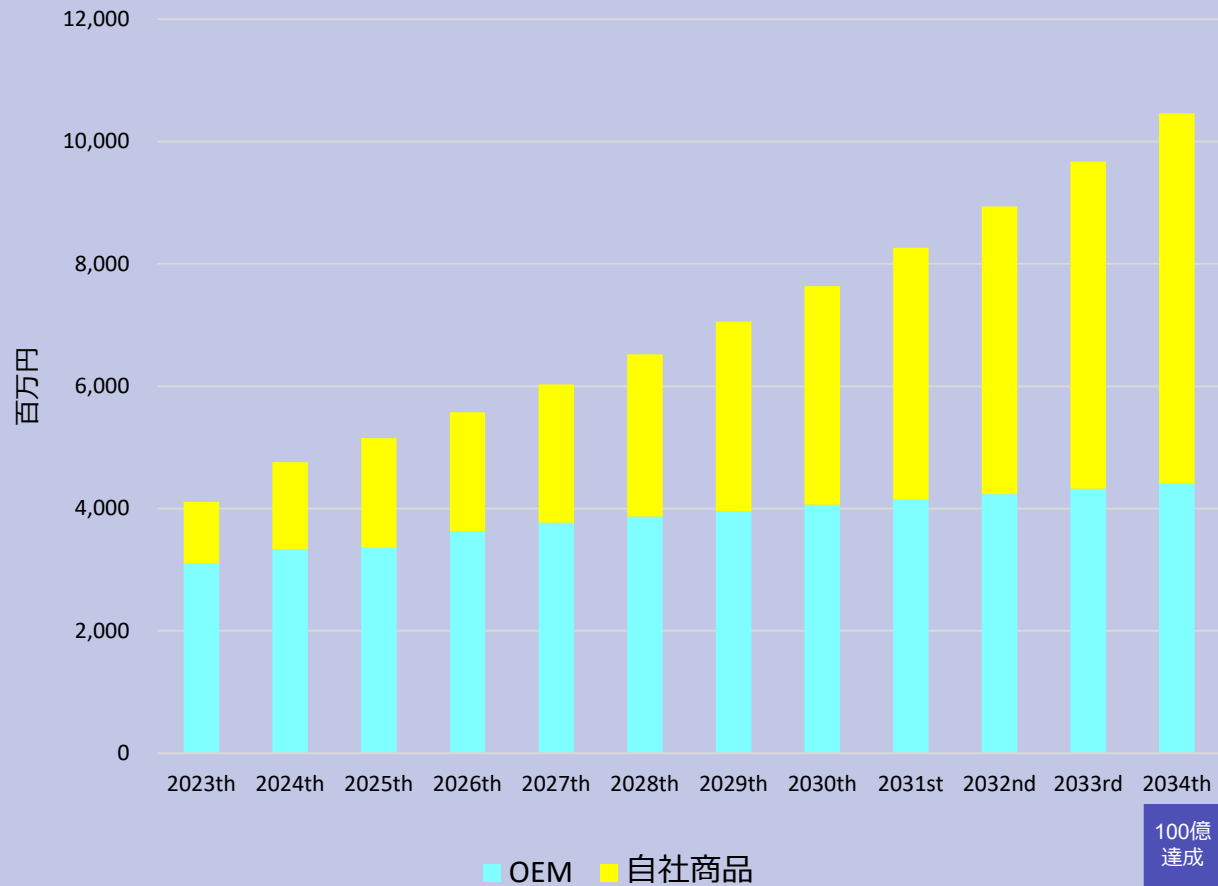
- ・大規模な投資を実施することで「省力化/効率化」を企図し、付加価値向上、コスト減と優位性を確保する。
- ・人手不足解消と、従業員の満足度向上と定着のための、持続的な賃上げの実施を行う。
- ・地域雇用、地域食材の仕入れ、安全な商品作り等、食を通じて地域になくてはならない企業を目指す。
- ・日本ブランドと、海外に受入れられやすい認証を取得し競合との差別化を図り、輸出額を増加させる。

実施体制

- ・投資による生産性向上により、商品への手間と効率化のメリハリが実現し、コストと付加価値を両立。
- ・生産性向上により、労働生産性の上昇率は、16.3%を想定、伸長分の約30%を従業員給与へ反映。
- ・特産品の規格外品を加工品として用いることで、地元を含めた生産者を支援。
- ・海外販売に必要な認証(HALAL等)の取得。

売上高100億円実現の目標・課題・具体的措置

売上高イメージ



実施体制⇒組織改編(CheafOffcer機能の導入)



各CheafOffcerの役割及びミッションを明確に打ち出し、目標実現に向けて行動を行う。

想定顧客とマーケティング戦略

- ・想定マーケットと顧客
買い手の属性は、国内外問わず、健康への意識が高く指名買いをしていただけるエンドユーザー(ファン)、海外は現地の味覚志向や宗教コンプライアンスの要素も付加。
- 戦略のコンセプトは、「せっかく買うなら安心/安全なものを」、「試飲販売で価値に共感いただく」、「価値を分かりやすく伝える」を主軸とし、カテゴリ夫々は、以下にて展開する。
 - 【商品】特徴を際立たせた商品を展開する。
 - 【価格】高価格帯(本物感とインパクト)と最多価格帯との差別化とバランスを図る。
 - 【流通】直接販売で、商流を簡素化。
 - 【販売】エンドユーザーに良さを直接伝える。